

台風 18 号による下水道施設被害の復旧状況

1. 現在の復旧状況

・流域下水道施設

- ① 安土中継ポンプ場…本復旧工事中。現在は一部本復旧済み、一部は仮設ポンプにより応急対応中。
- ② 守山中継ポンプ場…4月に本復旧完了。

・公共下水道施設

- ① 湖南省道路崩落による管渠破断…3月に本復旧完了。
- ② 日野町道路崩落による管渠破断…3月に本復旧完了。

・復旧工事個所の進捗状況

流域下水道施設		事業費 (単位千円)	進捗状況
	安土中継ポンプ場	470,000	40%
	守山中継ポンプ場	5,670	100%
公共下水道施設			
	湖南省	2,677	100%
	日野町	1,000	100%

※9月末現在

2. 未完了施設の今後の進め方

・安土中継ポンプ場

今年の9月に、ポンプの一部が設置完了し稼働した。全体の復旧完了は11月中旬を予定。

3. 滋賀県下水道不明水対策検討会

①取り組み内容

今回の被災の原因となった不明水対策について検討するため、平成26年4月に、流域下水道を管理する県と関連公共下水道を管理する全19市町で構成する「下水道不明水対策検討会」を立ち上げた。現在、早急を実施可能なソフト対策を中心に取り組みを開始している。

テーマ1：ハード面での発生源対策

- ・不明水発生箇所の特定とその対策を検討

テーマ2：ハード面での被害軽減対策

- ・処理場やポンプ場における、貯留管の整備やポンプ増強などの対策を検討

テーマ3：ソフト面での発生源対策

- ・個人の適切な下水道利用や、宅内排水施設の点検啓発

テーマ4：ソフト面での被害軽減対策

- ・溢水を防ぐための浄化センターやポンプ場の運転方法見直し
- ・県と市町との、情報共有体制の整備

②これまでの成果

- 湖南中部処理区において、従来は、大雨等による大量の流入が予想される場合であっても、下水処理を安定させるために管渠内貯留を活用して処理していたが、4月より、早期の段階から簡易処理等を活用してより多くの下水を処理場内に取り込み、管渠内が満水となり溢水する事態をできるだけ回避するような運用に改めた。
- 住民が宅内設備を適切に管理することを啓発する広報パンフレットを作成し、9月から県や関係市町でホームページや広報誌を通じて広報を開始した。
- 職員の水防待機状況、下水処理場の運転状況、災害の発生状況などを県と関係市町で共有するルールや、下水道使用自粛要請の手順を定めた情報共有要領(案)を作成し、9月から試行を開始した。

台風18号による県内の森林被災および復旧状況について

1. 県内の森林被災状況

○ 山腹崩壊 171箇所 溪流荒廃 116箇所

2. 現在の復旧状況

○ 年度別復旧計画

(事業費:億円)

	H25	H25	H26		H27	H28	H29	H30	合計
	9月 補正	経済 対策	予算	内示					
台風関連予算	6.5	2.1	14.0	6.5	30.8			45.9	

○平成26年度工事実施箇所の進捗状況

- ・ 国庫補助金の内示額が要望額を大きく下回った。これに伴い、平成26年度事業については台風18号災害に対して重点的に予算を配分し、人家、道路等重要なライフラインに影響のある緊急度の高い箇所から実施。

9月末時点

区分	所在地		事業費(億円)	進捗状況
平成25年度 (9月補正対応)	大津市	北小松	6.5	完了
	大津市	北大路		67%
	栗東市	下戸山・安養寺地区		90%
	湖南市	石部兩山		91%
	甲賀市	信楽町宮町		完了
	甲賀市	信楽町長野		11%
	近江八幡市	北之庄		10%
	竜王町	鏡		25%
	高島市	朽木宮前坊		40%
	高島市	鹿ヶ瀬(中溝)		85%
	高島市	朽木古川		90%
平成25年度 (経済対策)	大津市	西南部地区	2.1	33%
	湖南市	菩提寺(竜王山)		75%
	高島市	朽木宮前坊		40%
平成26年度 (当初予算)	大津市	葛川坊村地区	6.5	5%
	大津市	若葉台地区		2%
	栗東市	下戸山・安養寺地区		8%
	湖南市	針・平松		公告中
	甲賀市	牛飼・山上地区		1%
	甲賀市	油日(高間)		90%
	甲賀市	宮町黄瀬地区		1%
	近江八幡市	浄土寺		測量・調査・設計 委託中
	東近江市	小脇町		公告中
	多賀町	一円		測量・調査・設計 委託中
	高島市	朽木古川(大彦谷)		15%
	高島市	朽木村井		25%

3. 今後の復旧の進め方

- 林野庁に対し①後年度負担の予算確保②補正予算の積極的な確保について、要望活動を実施しており、今後引き続き強力に要望する。
- 市町の要望を重視し、今後の年度別復旧箇所を決定する。
- 台風災害に予算を重点的に配分し、人家、国道、県道、市道等の重要なライフラインに影響がある箇所から順次復旧に努める。

4. 山地災害の予防対策

- 山腹崩壊や溪流荒廃のおそれがある箇所について、予防治山事業等を実施する。
- 間伐等の森林整備を推進する。
- ニホンジカによる森林の被害状況に応じた植生および土壌保全の対策指針を策定し、治山工事や森林施業に活用する。

主要箇所の復旧状況

栗東市下戸山・安養寺地区

○被害:山腹崩壊 15箇所 死者1名 家屋全壊3戸、半壊1戸 工場、市道、ゴルフ練習場、神社が被災

○総事業費: 8.3億円

(災害関連緊急治山事業 108百万円 復旧治山事業等 718百万円)

平成25年から平成27年度(3年間)で実施予定

○H25年9月補正予算対応箇所: 下戸山(A、B、C):工事中、安養寺(A、B・C 下部):完了、川辺:完了

○H26年当初予算対応箇所:下戸山(D、E):工事中

安養寺(B・C 上部):工事中

